

# 先端計測技術の活用：イチゴ被害の革新的防除対策の研究開発・実用化

## ■ イチゴ病害の炭疽病被害とその防除対策

- ・作物（イチゴ等）の植物病原糸状菌（カビ）による被害
- ・イチゴ炭疽病の静岡県年間被害金額約1.4億円・・・栽培面積330haのうち約14.2%（10年平均）で発生

病害苗をほ場や苗生産現場へ持ち込まない。現場で早期発見除去が重要

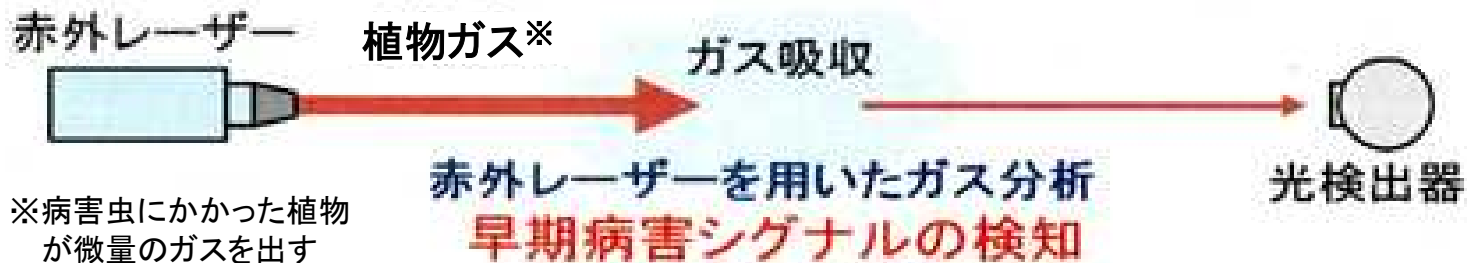
### 現在の防除対策

- ・苗の外観による診断
- ・農業従事者の経験的な診断  
（ヒトが感じる作物ガス濃度：ppbレベル）

### レーザーによる微量ガス分析法

- ・“非破壊”かつ“その場、診断”
- ・発症前又は初期の早期診断による適切な病害対応
- ・感染作物の迅速なスクリーニング・除去が可能

光技術を利用した全く新しいセンサー



**世界初 携帯型“非破壊、かつ、その場”病害診断センサーの開発と実用化**

研究レベルではすでに実用域へ→現場実装のための小型化（肩掛けレベル）

ICT活用農業事業化・普及プログラム平成26年度理化学研究所成果報告会資料一部改変